

## 第4回 IdMにおける共通本人認証基盤の開発研究委員会 議事録

1. 日時:平成24年1月27日(金) 15:00~17:00

2. 場所:一般社団法人 日本自動認識システム協会 B会議室

### 3. 次第:

- |                 |       |              |
|-----------------|-------|--------------|
| 1. 開会の挨拶        | 事務局   | 15:00 ~      |
| 2. 配布資料の確認      | 事務局   | 15:01 ~      |
| 3. 委員会(議事)      | 半谷委員長 | 15:05 ~16:20 |
| 1) 前回議事録確認      | 事務局   | 15:05 ~15:15 |
| 2) 調査報告         | 瀬戸委員  | 15:15 ~15:30 |
| 3) アーキテクチャ案について | 中村委員  | 15:30 ~16:30 |
| 4) まとめ          | 半谷委員長 | 16:30 ~16:40 |
| 4. 事務連絡         | 事務局   | 16:40 ~17:00 |
| 1) 今後の日程        |       |              |
| 2) 写真撮影など       |       |              |

### 4. 出席者:(敬称略)

- |        |       |                            |
|--------|-------|----------------------------|
| ・委員長   | 半谷精一郎 | 東京理科大 工学部電気工学科             |
| ・委員    | 瀬戸 洋一 | 首都大学東京産業技術大学院大学 産業技術研究科    |
| ・委員    | 中村 敏男 | (株)OKI ソフトウェア 企画室          |
| ・委員    | 寶木 和夫 | (株)日立製作所 横浜研究所             |
| ・委員    | 菊地 健史 | (株)日立ソリューションズ プラットフォーム 外本部 |
| ・委員    | 福田 充昭 | (株)富士通研究所 ソフトウェアシステム研究所    |
| ・委員    | 吉福 貴史 | 日立オムロンターミナルソリューションズ(株)     |
| ・委員    | 平野 誠治 | 凸版印刷(株) 事業開発・研究本部          |
| ・委員    | 山田 朝彦 | 東芝ソリューション(株) IT技術研究所       |
| ・オブザーバ | 鎌倉 健  | (株)富士通研究所 ソフトウェアシステム研究所    |
| ・事務局   | 酒井 康夫 | (一社)日本自動認識システム協会           |
| ・事務局   | 森本恭弘  | (一社)日本自動認識システム協会           |

### 5. 配布資料

- |      |                                   |
|------|-----------------------------------|
| 資料1: | 第4回 IdMにおける共通本人認証基盤の開発研究委員会アジェンダ  |
| 資料2: | 第3回 IdMにおける共通本人認証基盤の開発研究委員会議事録(案) |
| 資料3: | Biometrics2011 出張報告               |
| 資料4: | 調査報告(瀬戸委員)                        |
| 資料5: | BioIDM アーキテクチャの詳細について             |

## 6. 議事内容

### 1) 前回議事録確認

資料2を用いて、第3回IdMにおける共通本人認証基盤の開発研究委員会の議事録を確認し、承認された。

### 2) 調査報告

瀬戸委員より、資料3および資料4を用いて、調査結果を報告した。

資料3は10月18-20日英国ロンドンで開催のBiometrics2011へ出張、調査してきた内容である。これを含めて、関連調査結果を資料4にまとめた内容を報告する。

2011年9月18日から20日まで、英国ロンドンで開催されたBiometrics2011カンファレンスに参加し、最新技術動向を調査した。カンファレンス参加者は約250名、バイオメトリクス製品の展示は、NEC、Safranなど40社であった。展示は自動化ゲート(入国管理システム)関係が数社展示されていた。新技術というより大規模システムの実用化に重点を置いた展示であった。講演は14のセッションに分かれて、約50件実施された。

IdM(アイデンティティマネジメント)関係は3件の講演があった。

#### (1) Building the world's Largest biometric database (最大規模のバイオメトリックデータベースの構築)

これはエコシステムとして構築されている。

#### (2) Unique ID in the Criminal Justice Chain (刑事裁判連携におけるユニークID)

オランダにおけるフォレンジック用途(犯罪捜査)においてバイオメトリクスを利用した連携システムの構築に関する講演

#### (3) E-ID in the federal administration (アルゼンチンにおけるE-ID)

アルゼンチンで構築を進めているPKI(公開鍵による個人認証基盤)、バイオメトリクス、パスワード連携システムの講演。技術的な課題だけでなく、法的整備、プライバシー問題も考慮している。

その他、下記についての発表もあった。

#### (1) プライバシー影響評価PIA

#### (2) バイオメトリクス適合性評価

以上、IdMとバイオメトリクスを融合して利用する社会IDシステムの事例に関する講演があった。社会IDや国境管理システムなど大規模システムでの構築が大きな流れとなっている。ただし、ID技術の詳細な紹介はなかった。単純にIDとバイオメトリクスを結びつけるようなシステム構成であった。各国で構築するIDシステムは、国民IDと民間IDなどと連携して行うことにより利用者へ様々なサービスを効率よく提供できるエコシステムの実現を目的にしているようである。

主な質疑およびコメントは下記の内容。(Q:質問、A:応答、C:コメント)

- ① C:ガートナのレポートを見てもID連携が今後重要になるとなっている。ここで取り上げているバイオとID連携のテーマは重要と思う。

### 3) BioIDMアーキテクチャ案の提案と討議

中村委員より、資料5を用いて、「BioIDMアーキテクチャの詳細」について提案があり、検討した。説明の概要は下記。

#### ①今回は、プロトタイプの実装結果を報告する。

報告書の条件で実装が進んでおり、BioIDM Transaction、BioIDM Connection 共に基本動作ができる状況になった。

また、タイムアウト管理を追加し実装した。

#### ②今年度の残り作業として、「画面の改善」「性能評価の実施」「BioIDM Connection の関数化」がある。

#### ③来年度以降の検討事項として、「OpenID、SAML 連携」「マルチキャプチャ登録のサポート」「モダ

リティの追加「デバイス接続」が必要と考えている。

- ④来年度以降の実証実験の実施に必要と考えられる条件が変更になったので、改めて「[前回からの訂正] 来年度以降の進め方について」にまとめた。実証実験への参加を前向きにご検討いただき、ご対応のための準備をいただきたいとの要請が再度あった。

提案結果を受け、詳細については配布資料をもとに各委員に検討いただき、疑問がある場合は質疑をメールにて行うこととした。

主な質疑およびコメントは下記の内容。(Q:質問、A:応答、C:コメント)

- ① Q: BioIDM Connection はブラウザへのプラグインなのか。  
A: プラグインではなく、Web サーバのコンテンツである。したがって、インストールの必要はない。  
BioIDM Transaction は、OS 上で動作するプログラムなのでインストールが必要である。
- ② Q: タイムアウトはモダリティによって、時間や扱いが変わるのではないか。  
システム依存する部分もあるかと思うが、ヒューマンインターフェイス上で考えると、かくかく云々であるというような観点での検討ないし、推奨値に関する研究成果などをご存じないか。  
A: 現在、特に持っていない。今回はプロトタイプであり、また装置の性能にも影響があると思われるため、ベンダ設定ができるように考えている。
- ③ C: BioAPI の中に時間設定できるような関数を考えることも必要かもしれない。
- ④ Q: ブラウザは Google Chrome だが、IE などは使えるのか。  
A: WebSocket に対応していることが必要。今の IE は対応していないので使えない。今後使えるはずと考えている。

#### 4) まとめ

半谷委員長より、実施実証実験への参加について、前向きにご検討いただき、ご対応いただきたいと改めて要請をいただいた。また次回に報告書の内容を検討したいとのお願いがあり、まとめとした。

## 7. 事務連絡

### 1) 次回予定等

- ①場所： 一般社団法人 日本自動認識システム協会にて  
②日程： 第5回 2月22日(水) 15時から

以上